

## 原子力リスク研究センター（NRRC） 第12回 原子力経営責任者会議 議事録

1. 日 時：2019年5月29日（金）15:30～17:30

2. 場 所：電力中央研究所（大手町本部）役員大会議室

3. 出席者：

主査：アポストラキス（NRRC）

委員：阪井（北海道電力）、佐々木（東北電力；増子代理）、牧野（東京電力 HD）、伊原（中部電力；倉田代理）、福村（北陸電力；石黒代理）、吉原（関西電力；森中代理）、岩崎（中国電力）、玉川（四国電力）、豊嶋（九州電力）、市村（日本原電）、武井（日本原燃）、浦島（電源開発）、横尾（NRRC）

オブザーバー：渥美（電事連）、中野（原安進）、門上（ATENA）

NRRC 幹部：高橋、白井、梅木、山中、稲田、山本

幹事：岡本（NRRC）

4. 議 題：

### (1) 2018年度 NRRC の研究成果について

NRRC より、2018年度研究成果について説明した。

### (2) NRRC 活動状況

NRRC より、「原子力リスク研究センターの活動概要」について報告した。

（所長の主な発言）

- ・（所長より、大都市に近いという理由で原子力発電所の封鎖を求める訴えを起こされた米国の事業者が、事業者自らがリスク情報を活用した取り組みを実施。リスクが非常に低いこと、取り組みによってはさらにリスク低減に効果が見込めることを原子力安全の許認可局に説得し、成功した事例を紹介した。）当時の NRC はリスク情報を活用するルール自体を持ち合わせていなかった。安全目標もなく、規制ガイドもまだ整備されていなかった状況で、米国の事業者はリスク情報を活用した議論を持って行った。これがリスク情報を活用する色々なアクションにつながる大きな弾みとなった。

以 上